

未来へ



今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

今月から新しい環境で生活をスタートされた方も多いのではないのでしょうか。JALグループもこの4月、2100名ほどの新入社員を迎えました。人とのつながりを大切に、一人一人が自分の仕事に誇りを持ち、大いに活躍してほしいと思います。昨年、JALグループは、私たちがつくりたい未来、そしてその実現に向けたアイデアを『JAL FUTURE MAP』という1枚の紙に描きました。今回加わってくれた仲間と共に、このMAPを進化させながら、心はずむ社会をつくっていききたいと、私も決意を新たにしています。

さて、ついに「大阪・関西万博」開幕の時がやってきました！世界中の方々と共に未来への夢や希望を抱くと同時に、来日されるお客さまに日本のよさを感じていただける大きな機会です。JALグループもこれまで、公式キャラクターを塗装した『ミヤクミヤク』

「ET」の就航など、さまざまな取り組みを通じて、お客さまと共に開幕を楽しみにしてまいりました。そしていよいよ、開催期間中には、関係の皆さまと準備を進めてきた「空飛ぶクルマ」に挑戦します。

ドローンや空飛ぶクルマなどの次世代エアモビリティは、山間部や離島が多い日本特有の課題の解決や、旅先を隅々まで巡っていたく移動手段として、重要な役割を担ってくれるものです。先ほどご紹介したJAL FUTURE MAPでも、さまざまなエアモビリティが、飛行機と連携しながら人やモノの移動を支え、新しい暮らしや出会いを生み出している絵姿を描いています。今回の万博では、空飛ぶクルマをカラダで感じる没入

型の体験施設もご用意しました。最新技術によって、日常生活で空飛ぶクルマを使い移動する感覚を再現しています。とりわけ、未来を担う若者や子どもたちに、大阪^{オメシマ}の空をあたかも飛んでいるかのような臨場感を味わっていただき、そう遠くない未来の空へのワクワクを膨らませてほしいと願っています。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、世界中から、技術やアイデアが集結する万博。こういう時代だからこそ「いのちの息吹」を感じられるこの万博で、未来社会への想像を膨らませてみませんか。

次回のご搭乗も心よりお待ちしております。



とっとり みつこ / 1964年、福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社(客室乗務員)。2019年に客室安全推進部部長、2020年に執行役員 客室本部長、2022年に常務執行役員 客室本部長、2023年に専務執行役員 カスタマー・エクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員、グループCCOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。

※大阪・関西万博でのJALグループの取り組みについては、本誌「Embrace New Challenges JAL REPORT」「JAL SDGs REPORT」もあわせてご覧ください。

たびとりどり

代表取締役社長グループCEO

鳥取三津子